

環境関係裁判の判決を受けて



12 番
中島新吾議員
(日本共産党)

環境関係裁判の判決を受けて

7月10日、第3次裁判の判決が言渡された。この裁判は市の環境行政そのものが問われた内容ではないのか。特に、㈱マテリアル東海への許可の一部を取消した理由について、判決は市の主張が認められたものではないのか。裁判係争中に和解を提案し、2度にわたって議会へ和解を提案したことをどのように考えるのか。反省すべきではないのか。法と条例に則ることこそが一番大事である。

◆市長

判決の本文に「原告の請求をいずれも棄却する」とあるとおり、市の主張が認められたものと受け止めております。

和解の提案については、裁判が長期化するなかで争いを続けるより、和解という方法により相手方との紛争に区切りをつけることのほうにメリットがあるのではないかと、次々と裁判が連鎖する状況は決して好ましくないとの思いから、

顧問弁護士に相談を持ちかけたものです。

今後の裁判にあたりまして、一般廃棄物処理行政の正常化のために、法令に則った事務を遂行していきたいと考えます。

「人・農地プラン」をどう進めるか

担い手確保は地域の切実な課題であり、全員参加型で集落機能の維持のためにしっかりと話し合いが必要。「プラン」作成に向けた具体的な取り組みの状況は、「青年就業給付金」の支給の前提が、この「プラン」に位置付けられることになっているが、せっかくの制度が生かせないのではないか。

◆農林部長

「人・農地プラン」は出来るだけ最小集落単位でと考えています。勿論、青年就労給付金のような施策に影響が及ばないことを大前提に進めますが、市では、これが一つの地域おこし、地域を見つめるきっかけになることを願っています。職員自らが地元へ出かけ、様々な実情や問題点などを見て、聞いて、議論することは、将来を担う若い職員のこやしになることも考えます。

ゲリラ豪雨対策と行革は焦眉の急



6 番
山川博己議員
(日本共産党)

ゲリラ豪雨に備えた

災害防止対策について

①市内の暗渠水路で、土砂などの堆積により水路断面が小さくなっているところはないか。その調査と対策について伺う。

◆建設部長

昨年や今年の集中豪雨で暗渠内に土砂が堆積した箇所はありましたが、その都度土砂を除去し、断面確保に努めています。地元等から情報があれば早急に対応します。

②幸田3号線沿いの水路改良計画の進捗状況は。また、この水路の断面が人為的に狭められているのが放置されているのは何故か。

◆建設部長

水路改良は現在各事業者と調整中です。地元説明会を行ってから工事に着手します。水路を堰き止めて鯉が放流されているのを確認しました。増水が予想される時点で撤去するよう話していますが、ゲリラ豪雨時は急な増水により撤

去出来ない可能性があるため、早急に撤去するよう話し合います。

行財政改革の進捗状況について

①下呂市職員の部署別配置数並びに管理職比率は適正か。

◆総務部長

本年4月の人事異動では、各所属長の意見をもらい配置数を決定しました。管理職比率は人口の類似市と比較し若干高い傾向です。業務量に応じた人的資源の効率的な配分に努め、行政サービスの質の向上を図り、人件費の抑制に努めます。

②平成31年度までに果たさなければならぬとされる、50億円から60億円規模の財政縮小政策を具体的に示されたい。また、公の施設の今後の取り扱い方針について示されたい。

◆市長

安定的な財政運営を続けるため毎年事業の見直しを行っております。現在は市債発行額の抑制と繰上償還、基金への積極的な積立を行っています。また人件費の抑制も視野に入れていきます。本庁舎の一本化も検討し、組織の見直しを行い、事務の効率化を図ります。公の施設については現在見直しの指示をしているので、今後議会の皆さんにお示しします。

げろバス金山全線の時刻表見直しを



15 番
田口 幸雄 議員

平成24年8月1日に、新下呂市立金山病院開設に伴い、げろバス金山の2路線の時刻表が大幅に変わりましたが、利用者から、もう少し利便性を考えた時刻表に変更してもらえないかなどの点について要望された。

◆経営管理部長

改正してまだ1ヶ月なのでもう少し利用者の状況を見極めながら、地域の方の意見を伺い検討していきます。

②昼間の時間帯に、上・下線が全く無いので、午前11時前後に増設されたい。また祖師野上止まりを、乙原まで延長して欲しい。

◆経営管理部長

バスの運行については濃飛バスに委託しています。バス車両運転のやりくりの中で有効な手立てを検討します。そこで地元の声を受け新たな運行表の検討に入っています。案がまとまり次第、地元を示し、見直しの手続きを進めていきます。

下呂市高齢者福祉計画について

①第5期介護保険事業計画において、重点的に取り組む施策は

◆福祉部長

高齢者が住み慣れた地域で生活できるよう様々な施策を行います。特に認知症支援策の充実を図ります。一般の方々に認知症を理解していただくために啓発活動を行い3年間で千人の認知症サポートー養成を目指します。

②要介護認定者が増加の傾向にある中、居宅・施設サービスの充実策は

◆福祉部長

ショートステイは介護者の休息を目的とした利用が増えており、在宅介護を支える重要なサービスと認識しています。本年度あさぎりサニールンドで10床の増床を進めています。また小坂地域で事業所の公募も進めています。

③介護老人福祉施設入所待機者(497人)の申込み内容を分析され、説明下さい。

◆福祉部長

497人のうち認定が高い人が192人、うち今すぐ入所をしたい方が79人、更にそのうち独居・介護困難な方が36人、うちまさに在宅で待機されている方は10人です。

金山病院の現状と跡地利用について



7 番
中島 博隆 議員

下呂市立金山病院の現状は
①開院して約1ヶ月経過したが現在の利用状況は

◆金山病院事務局長

8月上旬はMRIなどの移設機器の調整や新しく導入したシステムに医師や看護師が慣れるために予約の患者様を少なくしましたが、一日平均150名程度でしたが、8月下旬には200名程度まで増加し最も多い日は250名になりました。また健診も74名行っています。入院については99床中現在60名です。

②患者さん、職員の反応は

◆金山病院事務局長

患者様からは病院が新しくなっ
て気持ちが良い、待合室も広くて
明るいいし、トイレも清潔で数も増
えて使いやすい。入院患者様から
は部屋が明るくて広い、職員の対
応も親切で良いなど評価をいただ
いている反面、施設や職員に対する
不満も届いています。すぐに対応

できるものはその場で解決していきます。職員からは施設完成後の不備についての意見もあるので、改善できるところは改善していきます。

旧金山病院の跡地利用について

①いつ頃壊し始めるのか。土壌調査は行ったのか。

◆金山振興事務所長

9月上旬には解体に着手し12月下旬には完了する計画です。土壌調査については、施設の解体後、サンプルを採取して分析を行います。基本的には「土壌汚染対策法」に準じて行います。

②跡地利用に住民の意見は取り入れるのか。市として条件は

◆金山振興事務所長

取り壊したあとには9,200㎡の空き地が出来ることになりま
す。病院の閉院式の日地元区長
さん及び跡地利用検討委員会の代
表の方から利用について提案を聞
かせてもらいました。ただ今のと
ころ市としては跡地に公共施設等
の具体的な利用予定はなく「ひだ
金山まちづくり協議会」で意見等
をお聞きしながら利用の方向を検
討していきます。